

東大野球部

メールマガジン

VOL.259

ごあいさつ

暖かな日差しに、春の兆しを感じる頃となりました。

弊部は先日、学外での活動を再開いたしました。活動再開できる状況に感謝し、春神宮で勝利を挙げるため選手一同、一生懸命、練習に取り組んでいます。

なかなか苦しい時期が続いておりますが、ぜひ春季リーグ戦での活躍を楽しみにしていただきます！



今回の特集

「進振りと今の学部を選んだ理由」

新入生が東大ならではの進振り制度をうまく活用できるように、部員にどのように学部を選んだのか聞いてみました！

馬場 高志(新4年・内野手・神奈川県聖光学院)



今では別の夢を追いかけていますが、受験生の頃の自分は、官僚になりたいという思いがあり、官僚になるならば東大法学部に進むべきだと考えました。文科I類を受験しました。大学入学後、官僚とは異なる新たな夢を見つけましたが、それも法律に関わるものであり、法律の勉強も好きだったので、進振りでは法学部に進学しました。自分は進振りであまり悩むことはありませんでしたが、進振りの際には自分がどの道に進みたいのか、しっかりと自分と向き合うことが大切だと思います。

坂井 直樹(新4年・学生コーチ・久留米大附設)



僕は文科II類に入学しましたが、経済学部でなく文学部で日本史を学ぶことにしました。理由は1年時に経済を履修し、経済は既知の事柄の学習が多く自分で学ぶ方法はあると感じたのに対し、史学は自分で問いを立て関連資料や先行研究を読んで自分だけの答えを求める学問で、実証主義の史学の思考法や自分と違う視点を持つ仲間が専攻しないと得難いと感じたからです。このように大学での学びを通して専攻を決められるのが進振りの利点だと思います。

中嶋 理沙(新4年・マネージャー・白百合学園)



私は文科III類に入学し、経済学部経営学科に進学しました。地域活性に興味があった学部を選びましたが、入ってみると経営系の授業が面白く感じました。企業や製品が成功した背景の物語を知ると、マネージャーの仕事

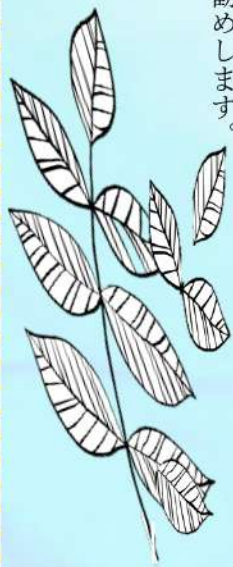
事にも生かせそうだなと思うことがあります。あとは、赤門が近いのも進学理由の1つです。赤門のそばにある建物で授業を受けることに憧れました。ただ、まだそれは叶っていません。今年はキャンパスで授業を受けたいと思っています！今は4人の同期と協力しながら試験やレポートを乗り越えています。

山田 燎（新3年・投手・渋谷幕張）



私は文科Ⅱ類から文学部心理学専修に進学しました。文科Ⅱ類は経済学部に進学する人が大半を占めています。私は、入学後に受けた心理の授業に興味を抱き、心理学専修に進学することにしました。2年時はコロナ禍であり、勉強する時間が確保できたことも心理への進学

の助けとなりました。以上のように、入学後に興味のある分野を考える時間があるというのが東大の良いところですが、やはり順当に進学するのが苦労も少ないので入学する際の科類選びは慎重に行うことをお勧めします。



井上 遼太郎（新3年・外野手・筑波大駒場）



自分は理学部の生物学科を選んだのですが、自分は物心ついた時から生物に興味があり、漠然と生き物関係のことがしたいと思っていました。そして生物の授業の時に出会ったある本をきっかけに、生物の研究をしたいと思ようになりました。その本は、『ソロモンの指環』という本です。動物行動学を入門的に説明する一方、読み物としても面白いので、生物に興味があるけど進路に迷っているという方は一度この本を手にとってみてはいかがでしょうか。

編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。次回の特集は「今後の目標」です。部員にとっての、今一番の目標を自由に語ってもらいます。どうぞお楽しみに！
今後とも東大野球部をよろしく願っています。

お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生1-1-1 東大球場

Tel & Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望などございましたら、上記連絡先までご連絡ください。